

7. 地域づくり協議会の認知度

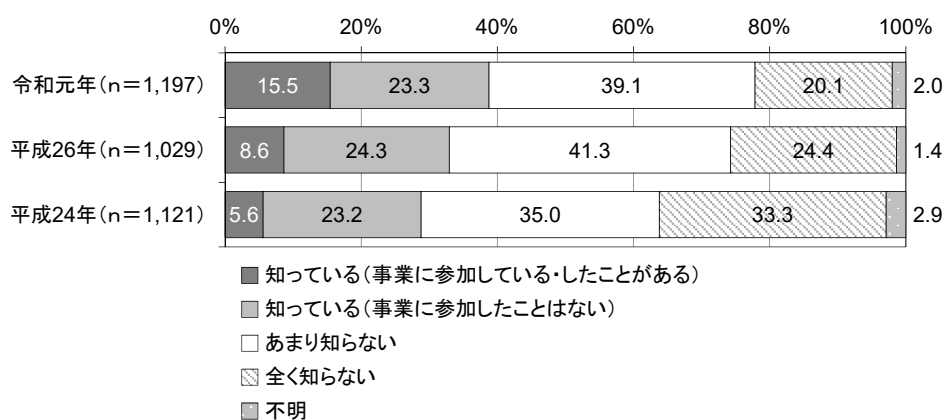
問7 あなたは、「地域づくり協議会」を知っていますか。(1つだけ選択)

- 「知っている」が約4割、「知らない」が約6割
- 認知度は高くなる傾向

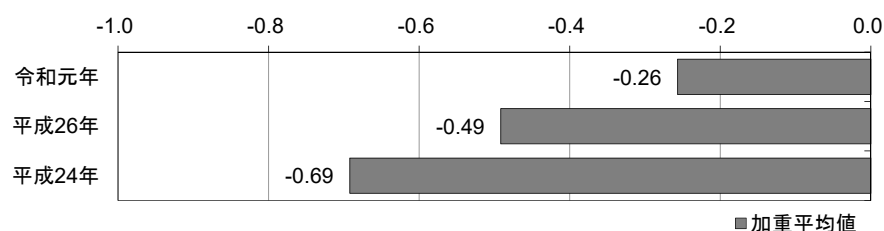
「あまり知らない」(39.1%)が約4割で最も高く、次いで「知っている(事業に参加したことはない)」(23.3%)、「全く知らない」(20.1%)がそれぞれ2割以上となっています。「あまり知らない」と「全く知らない」の合計値『知らない』(59.2%)は約6割、「知っている(事業に参加している・したことがある)」(15.5%)と「知っている(事業に参加したことはない)」の合計値『知っている』(38.8%)は約4割となっています。

過去2回の調査と比較すると、合計値『知っている』は、前回(32.9%)や前々回(28.8%)より高くなる傾向がうかがえます。

加重平均値※を見ても、マイナスの値ではあるものの、本調査(-0.26ポイント)は前回(-0.49ポイント)や前々回(-0.69ポイント)より毎回0.2ポイント以上高くなっています。



「地域づくり協議会」を知っているか(1つだけ選択)

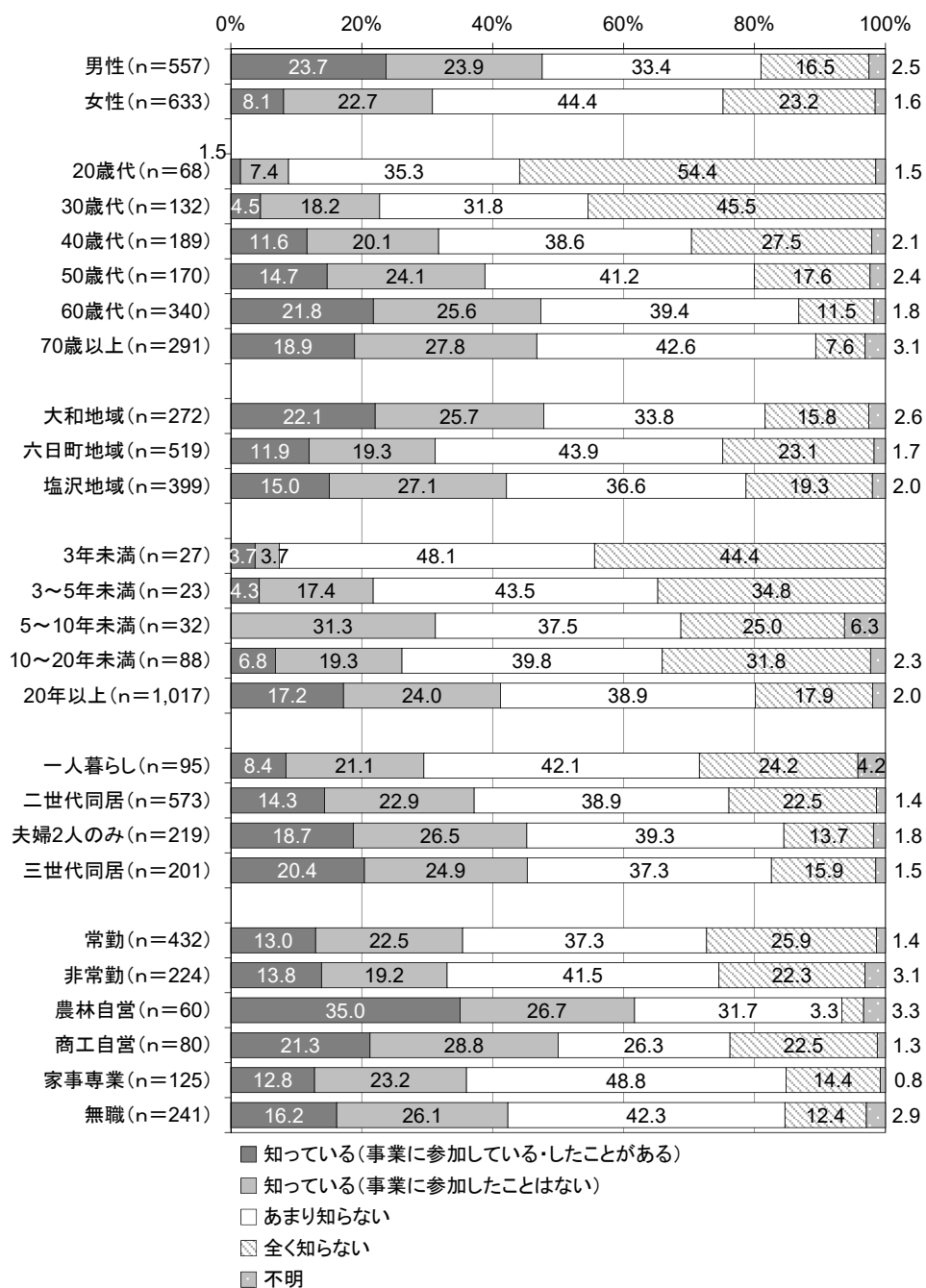


「地域づくり協議会」を知っているか(経年比較 加重平均値)

※加重平均値: 「知っている(事業に参加している・したことがある)」に+2点、「知っている(事業に参加したことはない)」に+1点、「あまり知らない」に-1点、「全く知らない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラス値の場合は肯定的な評価、マイナス値の場合は否定的な評価といえる

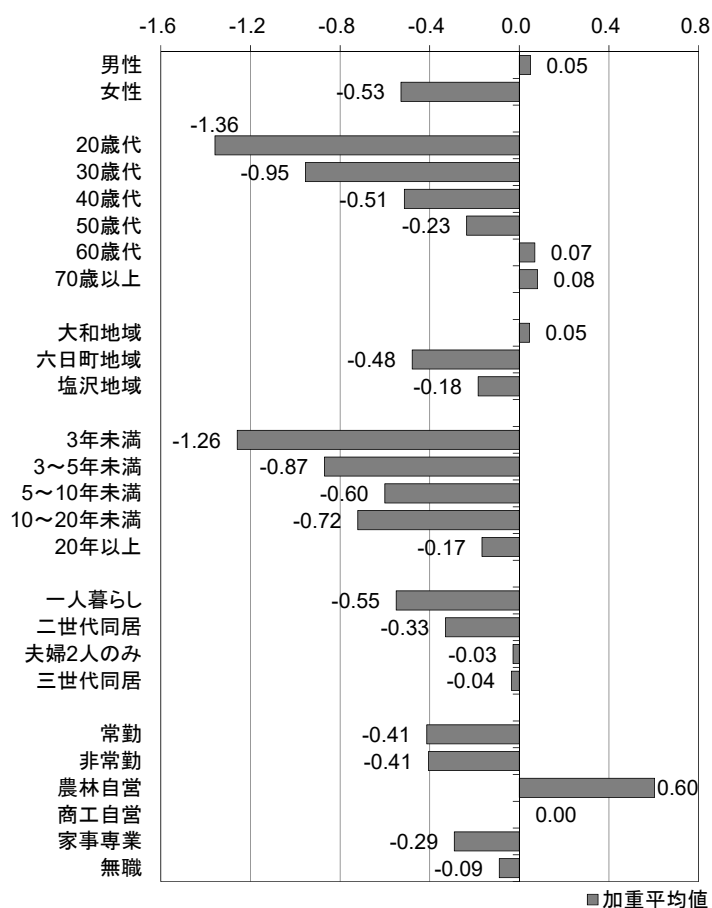
● 農林自営の認知度が比較的高い一方、若い年代、居住年数が短いほど認知度が低い

属性別に見ると、合計値『知っている』は、男性（47.6%）、60歳代（47.4%）や70歳以上（46.7%）、大和地域（47.8%）、居住年数20年以上（41.2%）、夫婦2人のみ（45.2%）や三世代同居（45.3%）、農林自営（61.7%）や商工自営（50.1%）などが比較的高くなっています。



「地域づくり協議会」を知っているか（属性別）

加重平均値を見ると、農林自営（0.60 ポイント）が最も高く、次いで 70 歳以上（0.08 ポイント）、60 歳代（0.07 ポイント）、男性（0.05 ポイント）、大和地域（0.05 ポイント）が同程度のプラス値となっており、商工自営も 0.00 ポイントとなっています。上記以外の属性はいずれもマイナスの値となっており、特に 20 歳代（-1.36 ポイント）や居住年数 3 年未満（-1.26 ポイント）は -1.0 ポイントを下回っています。また、概ね若い年代や、居住年数が短いほど認知度が低い状況が見られます。



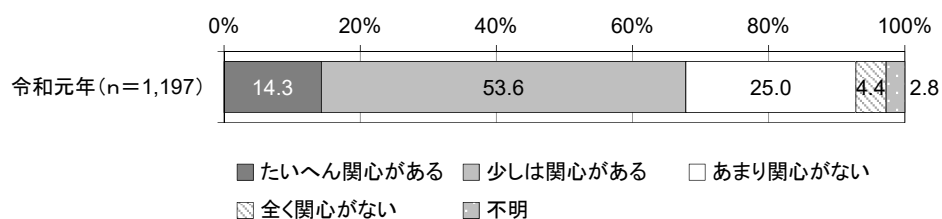
「地域づくり協議会」を知っているか（属性別 加重平均値）

8. 地域づくり活動への関心度

問8 あなたは、行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心がありますか
(1つだけ選択)

●「関心がある」約7割

「少しは関心がある」(53.6%)が5割以上で最も高く、次いで「あまり関心がない」(25.0%)が2割以上、「たいへん関心がある」(13.4%)が1割以上となっています。「たいへん関心がある」と「少しは関心がある」の合計値『関心がある』(67.9%)は約7割となっています。

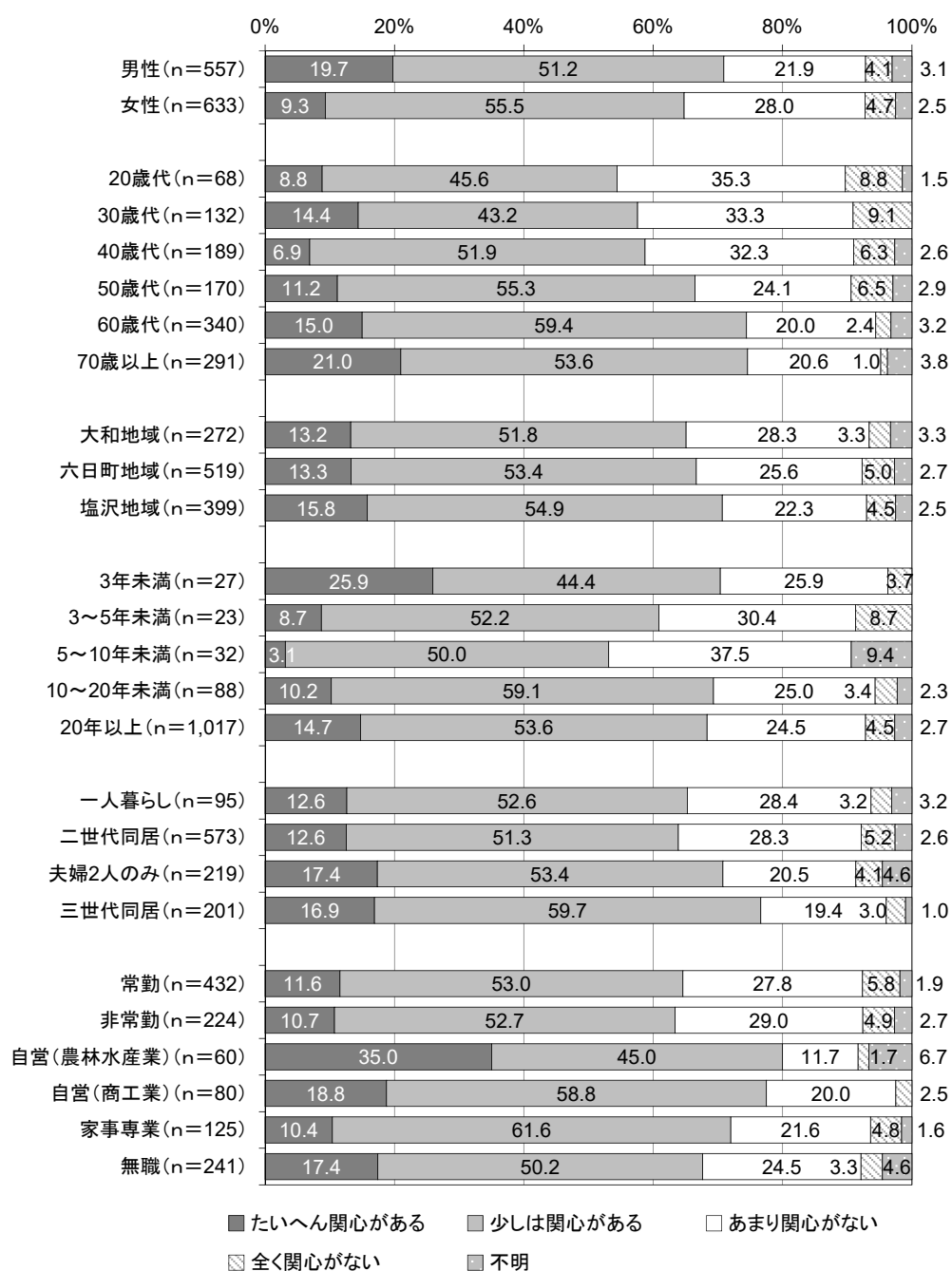


行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心があるか (1つだけ選択)

- 男性、高い年代、3年未満、夫婦2人のみ、三世帯同居、農林自営、商工自営などの関心度が比較的高く、農林自営が特に高い
- 20歳代の関心度が低い

属性別に見ると、いずれの属性も「少しは関心がある」が最も高くなっています。

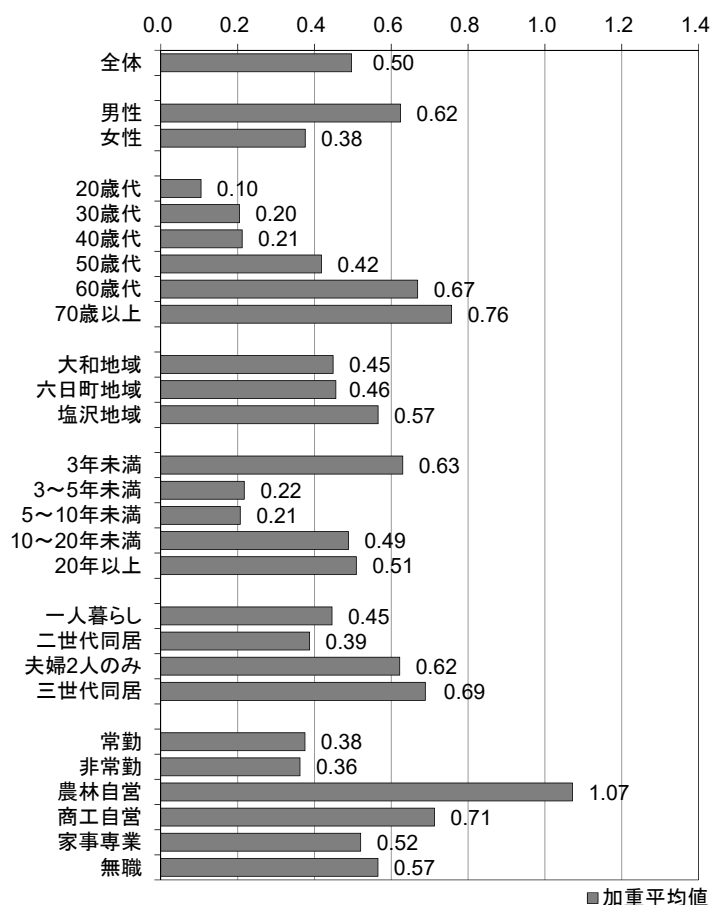
合計値『関心がある』は、男性（70.9%）、高い年代、夫婦2人のみ（70.8%）や三世帯同居（76.6%）、農林自営（80.0%）や商工自営（77.6%）などが比較的高い一方、20歳代（54.4%）や居住年数5～10年未満（53.1%）が比較的低くなっています。



行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心があるか（属性別）

加重平均値※を見ても同様の傾向となっていますが、その中で農林自営（1.07 ポイント）が特に高く、次いで 70 歳以上（0.76 ポイント）、商工自営（0.71 ポイント）などが高くなっています。一方、20 歳代（0.10 ポイント）が特に低くなっています。

また、居住年数別では、3 年未満（0.63 ポイント）が比較的高くなっています。



行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心があるか（属性別 加重平均値）

※加重平均値：「たいへん関心がある」に+2点、「少しは関心がある」に+1点、「あまり関心がない」に-1点、「全く関心がない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラス値の場合は肯定的な評価、マイナス値の場合は否定的な評価といえる

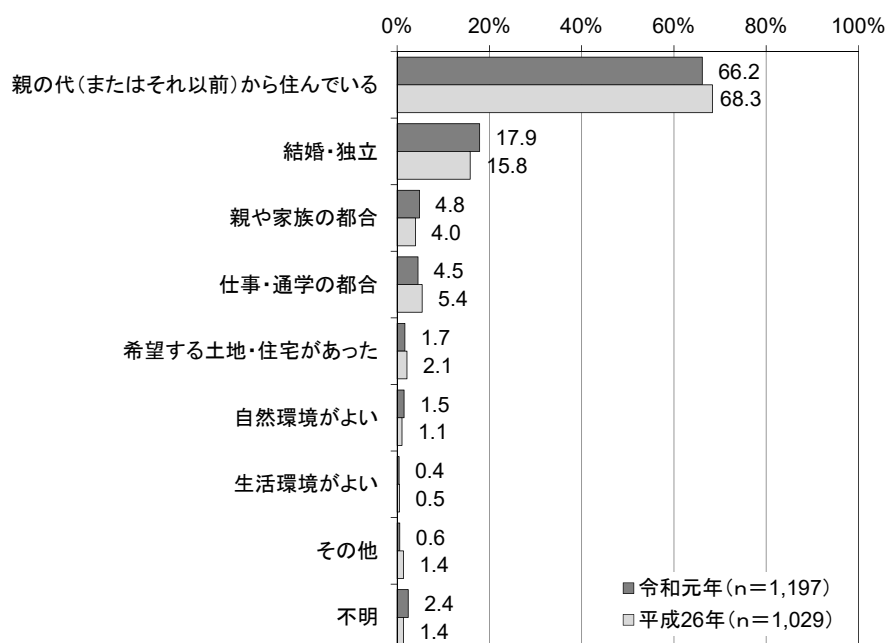
9. 南魚沼市に住むようになった理由・きっかけ

問9 南魚沼市に住むようになった理由・きっかけはどのようなことですか。
(1つだけ選択)

- 「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が約7割
- 前回調査と同様の傾向

「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」（66.2%）が約7割で特に高く、次いで「結婚・独立」（17.9%）が約2割となっています。

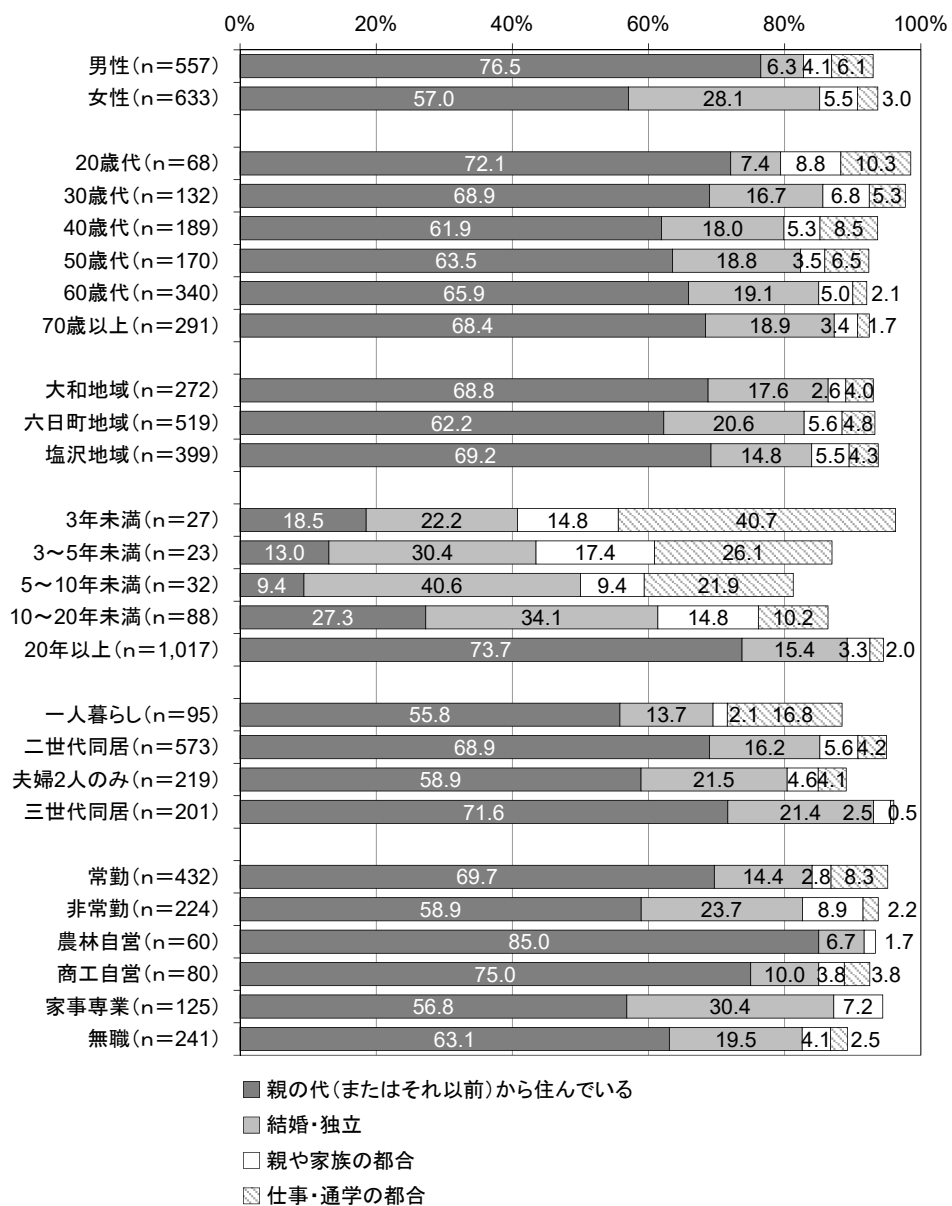
前回と比較すると、同様の傾向となっており、大きな変化は見られません。



南魚沼市に住むようになった理由・きっかけ（1つだけ選択）

- 「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」は農林自営が特に高い
- 居住年数3年未満は「仕事・通学の都合」、3～20年未満は「結婚・独立」が最も高い

属性別に見ると、居住年数20年未満を除きいずれの属性も「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が最も高く、特に農林自営（85.0%）は8割以上となっています。居住年数3年未満は「仕事・通学の都合」（40.7%）、3～20年未満はいずれも「結婚・独立」が最も高くなっており、「結婚・独立」は女性（28.1%）、家事専業（30.4%）、「仕事・通学の都合」は居住年数3～5年未満（26.1%）も約3割で比較的高くなっています。



※全体傾向における上位4項目のみ表示

南魚沼市に住むようになった理由・きっかけ（属性別）

10. 南魚沼市は暮らしやすいか

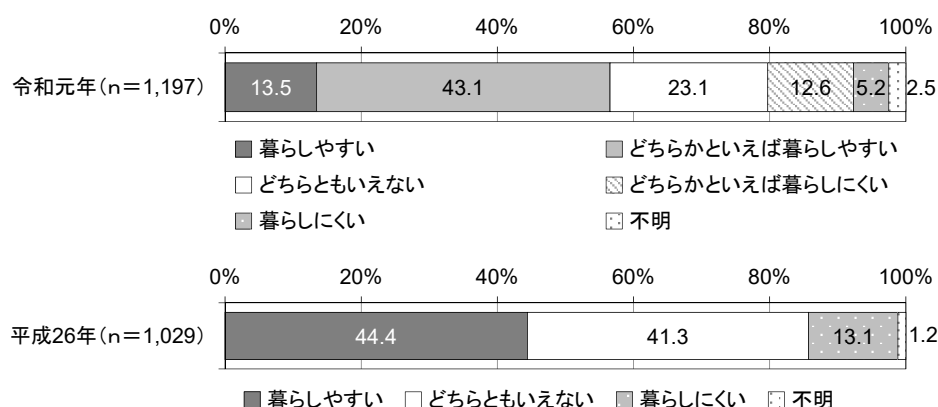
問 10 南魚沼市は暮らしやすいと思いますか。(1 つだけ選択)

●「暮らしやすい」が約 6 割、「暮らしにくい」が約 2 割

「どちらかといえば暮らしやすい」(43.1%) が 4 割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.1%) が 2 割以上、「暮らしやすい」(13.5%)、「どちらかといえば暮らしにくい」(12.6%) がそれぞれ 1 割以上となっています。

「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」の合計値『暮らしやすい』(56.6%) は約 6 割、「暮らしにくい」(5.2%) と「どちらかといえば暮らしにくい」の合計値『暮らしにくい』(17.8%) は約 2 割となっています。

前回とは選択肢が異なるため、参考として見てみると、『暮らしやすい』(前回 44.4%) は 10 ポイント以上高くなっています。



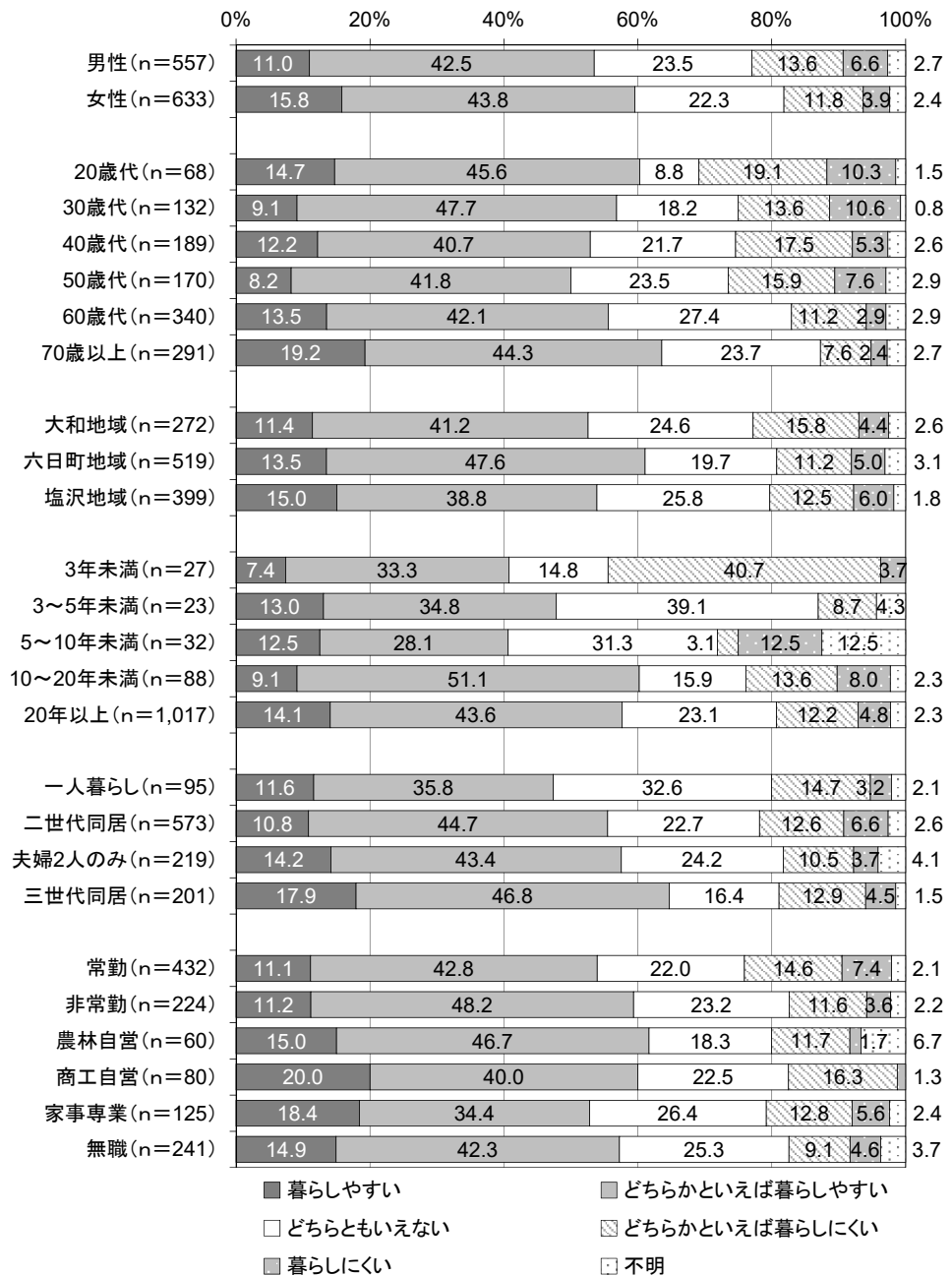
※平成 26 年は上記の 3 選択肢で設定

南魚沼市は暮らしやすいと思うか (1 つだけ選択) (経年比較)

- 「暮らしやすい」は、女性、20 歳代、70 歳以上、六日町地域、居住年数 10～20 年未満、三世代同居、農林自営、商工自営などが比較的高い
- 居住年数 3 年未満は「どちらかといえば暮らしにくい」が 4 割以上で最も高い

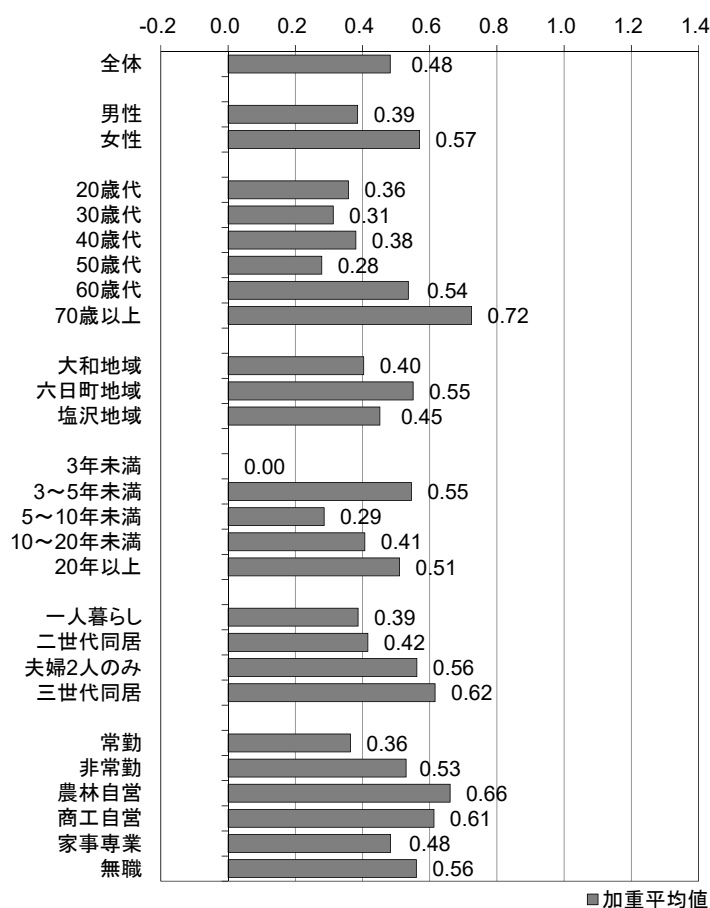
属性別に見ると、居住年数 10 年未満を除きいずれの属性も「どちらかといえば暮らしやすい」が最も高くなっています。居住年数 3 年未満は「どちらかといえば暮らしにくい」(40.7%) が 4 割以上で特に高く、3～5 年未満や 5～10 年未満は「どちらともいえない」(それぞれ 39.1%、31.3%) が最も高くなっています。

合計値『暮らしやすい』は、女性（59.6%）、20歳代（60.3%）や70歳以上（63.5%）、六日町地域（61.1%）、居住年数10～20年未満（60.2%）、三世帯同居（64.7%）、農林自営（61.7%）や商工自営（60.0%）などが6割以上で比較的高い一方、居住年数3年未満（40.7%）や5～10年未満（40.6%）が比較的低くなっています。



南魚沼市は暮らしやすいと思うか（属性別）

加重平均値※を見ても同様の傾向となっており、その中で70歳以上（0.72ポイント）が最も高く、次いで三世代同居（0.62ポイント）、農林自営（0.66ポイント）、商工自営（0.61ポイント）などが比較的高くなっています。一方、居住年数3年未満（0.00ポイント）が特に低くなっています。



南魚沼市は暮らしやすいと思うか（属性別 加重平均値）

※加重平均値：「暮らしやすい」に+2点、「どちらかといえば暮らしやすい」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかといえば暮らしにくい」に-1点、「暮らしにくい」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラス値の場合は肯定的な評価、マイナス値の場合は否定的な評価といえる

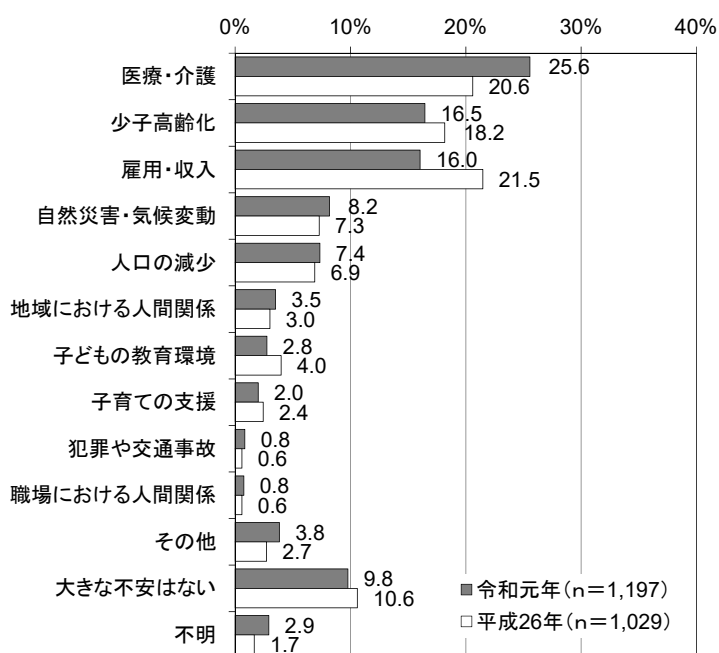
11. 暮らしにくさや不安

問 11 南魚沼市で暮らす上で、暮らしにくさや不安を感じていることがありますか。
(1 つだけ選択)

- 「医療・介護」が2割以上、次いで「少子高齢化」「雇用・収入」がそれぞれ1割以上
- 次いで「大きな不安はない」が約1割
- 前回より「医療・介護」は若干高く、「雇用・収入」は若干低い

「医療・介護」(25.6%)が2割以上で最も高く、次いで「少子高齢化」(16.5%)、「雇用・収入」(16.0%)の2項目が1割以上で同程度に高くなっています。一方、「大きな不安はない」(9.8%)は約1割となっています。

前回と比較すると、「医療・介護」(前回 20.6%)が5ポイント高い一方、前回最も高い「雇用・収入」(前回 21.5%)は5ポイント以上低くなっています。「少子高齢化」「大きな不安はない」は前回から大きな変化は見られません。

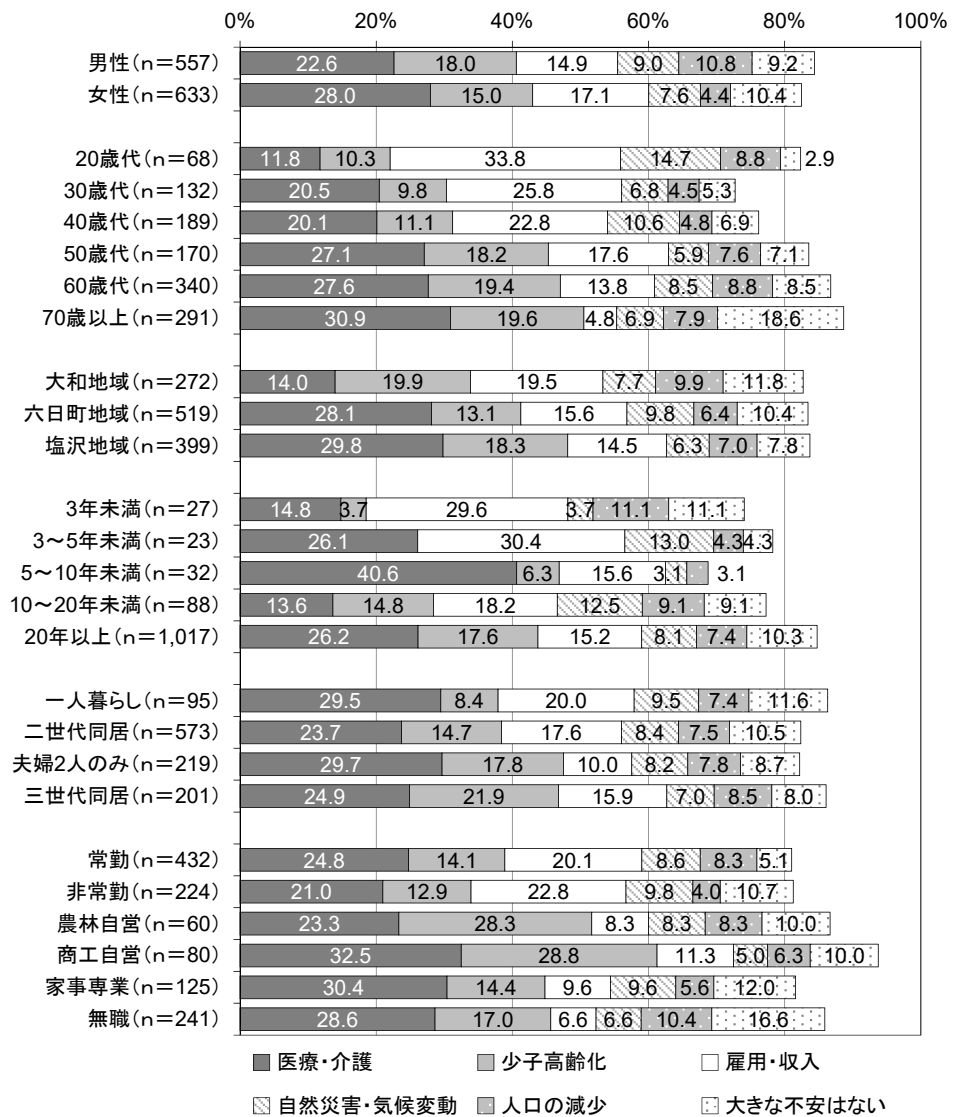


南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていることがあるか (1 つだけ選択) (経年比較)

- 属性によって傾向が異なる
- 若い年代ほど「雇用・収入」、高い年代ほど「医療・介護」が高い
- 居住年数 5 年未満や 10～20 年未満、非常勤は「雇用・収入」が最も高い
- 六日町・塩沢地域、居住年数 5～10 年未満、20 年以上は「医療・介護」が比較的高い
- 大和地域、農林自営は「少子高齢化」が最も高い

属性別に見ると、性別、家族構成別では、いずれの属性も「医療・介護」が最も高くなっていますが、それ以外の属性では傾向に違いが見られます。

年代別では、40 歳代以下は「雇用・収入」、50 歳代以上は「医療・介護」が最も高く、若い年代ほど「雇用・収入」、高い年代ほど「医療・介護」が高い傾向がうかがえます。また、地域別では、大和地域は「少子高齢化」(19.9%)、六日町地域、塩沢地域は「医療・介護」(それぞれ 28.1%、29.8%) が最も高くなっています。居住年数別では、5 年未満や 10～20 年未満は「雇用・収入」、5～10 年未満、20 年以上は「医療・介護」が最も高く、その中でも 3 年未満や 3～5 年未満は「雇用・収入」(それぞれ 29.6%、30.4%) が約 3 割、5～10 年未満は「医療・介護」が 4 割以上で比較的高くなっています。職業別では、非常勤、農林自営を除き「医療・介護」が最も高く、非常勤は「雇用・収入」(22.8%)、農林自営は「少子高齢化」(28.3%) が最も高くなっています。



南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていることがあるか（属性別）

※全体傾向における上位6項目のみ表示